議会運営委員会報告書

令和3年3月5日

備前市議会議長 守井 秀龍 様

委員長 土器 豊

令和3年3月5日に委員会を開催し、次の案件を協議したので議事録を添えて報告する。

記

1 議案の訂正について

- ① 議案第16号 令和2年度備前市一般会計補正予算(第10号)について

議会運営委員会記録

招集日時	令和3年3月5日（金）		第1回定例会休憩中	
開議・閉議	午後1時40分	開会	～	午後1時56分 閉会
場所・形態	委員会室	会期中（第1回定例会）の開催		
出席委員	委員長	土器 豊	副委員長	森本洋子
	委員	中西裕康		尾川直行
		石原和人		青山孝樹
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	守井秀龍	副議長	掛谷 繁
傍聴者	議員	なし		
	報道	なし		
	一般	なし		
説明員	議会事務局長	入江章行	議会事務局次長	石村享平
	庶務調査係長	坂本 寛	議事係主任	楠戸祐介
審査記録	次のとおり			

午後1時40分 開会

○土器委員長 ただいまの御出席は6名であります。定足数に達していますので、ただいまから議会運営委員会を開催いたします。

○石村議会事務局次長 お手元に配付しております正誤表のとおりとおり、執行部から議案第16号一般会計補正予算（第10号）について、訂正がございました。議事日程に係ることですので、議会運営委員会の開催をお願いいたしました。

今後の進め方でございますが、議案の訂正につきましては、会議規則第19条の規定によりまして、議会の承認事項となりますので、日程として議案の訂正を議会が承認する必要がございます。ということで、日程追加は全ての日程を終えたところで追加するというのもあるんですが、これから議案の質疑に入りますので、質疑前に訂正をしたほうが良いという議長の御判断もありまして、日程2で議案の訂正を追加したいと考えております。

まず、再開して日程追加をお諮りいただいて、日程2で議案の訂正を追加する。市長から訂正理由を説明していただきまして、御承認をいただきたいと考えております。

当初の予定でありました議案の質疑につきましては、日程を3に繰り下げて、その後、議案の質疑、委員会付託を行っていただきたいと考えております。

以上でございます。

○土器委員長 事務局の説明が終わりました。

皆さんのほうで何か意見等ございますか。

○中西委員 ここで聞くべきことかどうかというのはあるんですが、議案の訂正なんていうのは、私もなかなか経験がないものですが、今回の議案の訂正理由というのは、市長の説明を聞くまで教えていただけないものなんでしょうか。

○入江議会事務局長 事務局も1時10分前ぐらいに、お聞きしたばかりでして、内容については分かっておりません。

○中西委員 議員がもしそこを聞こうと思えば、市長の提案の後、質疑をすることができるということになるわけですか。

○石村議会事務局次長 訂正理由の説明はあるんですけど、議事日程上、質疑は考えてはおりません。

○中西委員 事務局は考えていないんですけども、手続とすれば我々は質疑をすることができるわけですか。

○石村議会事務局次長 これは一般会計の補正予算なんですけれど、そもそもこの議案については、質疑を受け付けておりません。ほかの議案だったらどうなるのかというのは今後の検討課題にさせていただきたいとは思いますが、そういうこともございまして、今回については質疑を日程に入れる予定は今のところありません。

○中西委員 了解です。

○守井議長 先ほど理由の話で若干出ておりましたけれど、単なるミスプリであったというようなお話を聞いております。ただ単に間違いだったというようなことを聞いております。

○尾川委員 同じことの繰り返しになるんですけど、間違いというのは誰も起こり得るんですけど、やっぱり間違えた理由もはっきりしたいというか、今後のミスを防ぐためには、やっぱり明確に押さえんと、いつもハインリッヒの法則じゃねえけど、そういうことが繰り返されるということをどう防止するかというのは、例えばダブルチェックしょんかとか、担当者一人でやってしまよんか、忙しいから上が見んというふうなことで、やっぱり書類が出ていくということについて、全体的に、現在起こつとる問題だけじゃなしに、ほかにもいろいろあったり、議会事務局でもあるわけなんで。

だけど、やっぱりダブルチェックでも抜ける場合もあるし、その辺を明確にしてもらいたいというんと、もう一つは単なるミスプリじゃというふうなものが通って今に至ったという、何で今の時期ならというのをちょっと聞きたい。

○守井議長 きつく申しつけますし、やっぱり市長からきちんとしたおわびなりを入れていただかなきゃいけないと思っていますので、その中で、どういう理由によってあったかということも明記するような話はしてみます。

○尾川委員 今、議長の話にあったけど、やっぱりそのシステムというもんをもう少し見てやるべきじゃと。なかなかそれでもミスすることはあるから、そういうわけにはいかんのやけど、やっぱりどう歯止めしていくかということを徹底して議会として言うてもらわんと、それはそう単純に考えとらんと思うけど、すいませんでしたと、ちょっとミスプリだったんですというだけで、やっぱりこの議会は通しても、ほかのこと、市民に直接関係するようなことがあったら大問題じゃと思うんで、いかに正確な仕事をしていくか、全市的というか、全庁的というか、やっぱりその辺は歯止めするというのを明確に市長から言うてもらいたいと思う。

○守井議長 そのように申入れいたしますので、御理解いただきたいというふうに思います。

○石原委員 ミスがあれば、当然発見時点で正しいものに訂正をして、ましてや予算に関わることですし。まだ、審査はこれから始まる、今、この時点で判明して訂正ができてよかったんですけど、これちょっと考え方を変えれば恐ろしいことかなとも思います。これもし気づかずに、補正予算が可決された後に判明したような場合はどういう扱いになるのかな。今回はこういう形で訂正がなされるんですけど。

○入江議会事務局長 今回の議案第16号のこの10ページは、議決事項第5表の地方債補正の議決事項です。通常、その後に款項目節ごとの説明欄があると思いますが、ここに間違いがあることは、今までもあったと思いますが、ここはいわゆる議会が議決をするところです。あとの説明資料のほうは、いわゆる附属資料なので、間違いがあつてはいけませんが、ここは絶対に間違えたらいけないところだと思います。

今回のこの補正内容の間違い内容を見ると、補正後の金額が1億5,390万円の限度額が下

がって1億4,760万円になっております。事実上の記載の額は、これが限度額で、間違えたら大きい1億5,390万円までは認めるという議決になってしまいます。なので、いずれにせよ、何かしら問題が起きていくものになるようなところだと思います。

起債について、限度額以内になるんだから大丈夫とは言いもって、そうはいかない。いわゆる議員さんが大体ずっと目で追っていただいて審査をしていただくものとは違い、ここを議決するところとなっておりますので、事は重大だと思われれます。

これがそのまま議決されますと、普通は終わった後すぐ分かったら、もう一回臨時会なりをやって、訂正のもののための議会、それだけになるかもしれませんが、そういう議会をしないと、これは直りません。

○土器委員長 ほかの方でございせんか。ないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

尾川委員のほうから、ダブルチェックの話があったと思うんです。それは議長から市長に言うてもらおうという形でいかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、議長、よろしくお願いします。

○尾川委員 こういうのがあったら、当事者たたきになりかねんのんじゃ。だけど、やっぱり何でこうなったかということを押さえていかんと、再発防止はできんと思うんよ。非常に気の毒なけど、ある程度調査して、記録していくというふうなことを、やっぱりその厳しさというのはある程度のきちっと守っていくというか、間違えんようにしていくというもんがなかったら、ああ、よかったな、早う議決前に見つかってよかったなあじゃあ、やっぱり。その辺だけはきちっと押さえてもろうて、報告書まで見せてくれえとは言わんけど、その辺の押さえをやっぱり言うといてもろうて、本人たたきだけじゃあ、その仕組みが、何遍も同じことばあ言うけど、仕組みが悪かったんか、本人の能力が足らんのか、その辺をやっぱり内部的にきちっと把握して、今後に生かしてもらいたいという意見です。

○土器委員長 ほかの方で、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それじゃあ、議長、よろしくお願いします。

ほかにないようですので、これで議会運営委員会を終了いたします。

ありがとうございました。

午後1時56分 閉会